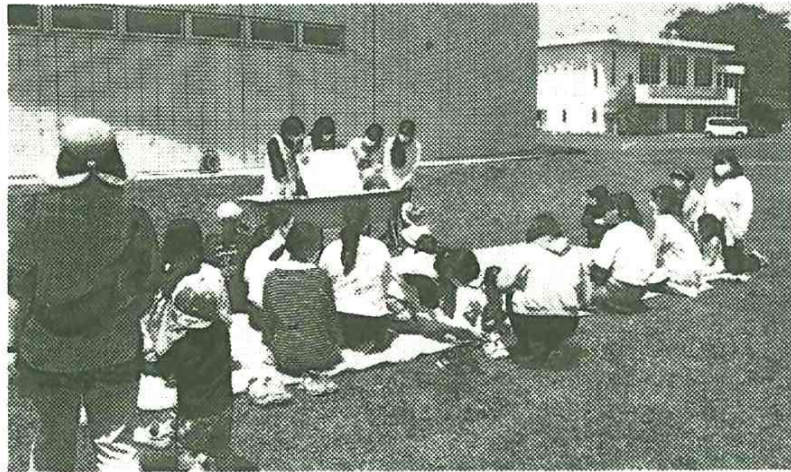


親子遊びの場を地域とともに

宇都宮共和大学 学生による読み聞かせも



宇都宮共和大学（須賀

英之学長）は、5月8

日、同大学グラウンドで

「親子遊びの会」を開催
した。

「親子遊びの会」では、遊びの支援、子育て支援、親子の仲間作りを目的に、さまざまな遊び・活動を毎年行っている。子ども生活学部の教員・学生が、事前の準備、当日の運営や援助を

行い、開催している。

今回は、青空の下、

「ミニミニ・アスレチック」というテーマで、芝生の上で、巧技台やフラフープなど思いおもいに好きな遊びを親子で楽しんだ。また、同大学生による「ぞうくんのさんぽ」や「ぐりとぐら」の大型絵本の読み聞かせや、保護者と教員が子育てについて語らう時間も

設けられた。参加者からは、「コロナ禍でも安心してのびのび遊べる機会がうれしい」と喜びの声も聞かれた。学生からは、「実習で見ることでできない、親子との触れ合う貴重な体験が勉強になった」と感想も寄せられた。また「親子遊びの会」は上級生が実習等を経て身につけた保育力を下級生に伝える良い機会にもなっている。これからも同大学では、親子遊びの場づくりを地域住民とともに継続していく。

教育学術新聞【第 2843 号】掲載
(日本私立大学協会刊行)